

## 会議録

日 時	令和2年9月1日(火) 午後6時30分から午後8時
会 場	北広島市役所 4階会議室C～F
出席委員	本橋委員長、櫻井委員、山口委員、古木委員、橋本委員、中田委員、北村委員、藤崎委員、外崎委員
欠席委員	安藝委員
市出席者	吉田課長、松下主任、古内主事、南主事

## ■開会(午後6時30分)

## ■自己紹介

## ■社会教育委員長あいさつ

## ■報告事項

(1) 各種研修会について

事務局：口頭にて報告。

委員長：ありがとうございます。では、次にいきます。

(2) 社会教育課所管事項の進捗状況について

事務局：資料に基づき説明。

委員長：以上の報告について、質問等ありますか。ご説明いただいたとおり、多くの事業が中止、延期となっているようです。このままでは文化のジェノサイドになりますので、できることは工夫をしながら実施していただければと思います。

## ■協議事項

(1) 生涯学習市民活動団体支援事業補助金について

事務局：資料に基づき説明。

委員長：コロナウイルスの影響から2次募集への申請が0件だったとのことでした。質問等ありますでしょうか。では次にいきます。

(2) 社会教育の推進方針の改定について

事務局：資料に基づき説明。

委員長：ありがとうございます。私からよろしいでしょうか。実施事業の欄のA、B、Cという記載はどういった意味合いなのでしょう。

事務局：成果指標の欄にも同様にA、B、Cと記載しております。これは欄が狭いので事業名を省略したものであって評価の意味合いではありません。しかし、わかりづらいと思いますので、これは修正いたします。

委員長：わかりました。次期教育振興計画の策定懇談会が先日開かれたようです。どのような内容だったのかお願いいたします。

委員：参加してきましたので、私からご報告いたします。

## 【資料に基づき説明】

委員長：ありがとうございます。コロナによってオンラインやICTの考え方が重要視されてきていますね。これは時代に対応した内容だと思います。

## 会議録

- 委員：臨時休校時の学びサポート応援メッセージ、YouTube は、実際に私、小学校1年生と4年生の子どもがおりますので、担任の先生からDVDが届いて拝見しました。これをきっかけに広がればいいと思います。他市町村や道外では様々なコロナ禍での取組みの先進事例がありますので、当市でも予算を組んでというのは難しいとは思いますが、制度や環境を整備していただきたいと思っています。
- 委員長：ありがとうございます。この教育のICT化推進について、社会教育の推進方針に入れるのか入れないのか。いかがでしょうか。
- 事務局：学校教育関係でのICT化については、各種委員会でも議論しているところです。社会教育分野については、正直なところ遅れをとっていると言わざるを得ない状況だと思います。理由は2つありまして、1つは、何を配信するかというソフトの問題です。ネットやYouTubeで検索すれば欲しい情報が手軽に手に入る世の中で、我々が発信する情報は需要のあるものなのかどうか。まずはしっかりとソフトを用意しなければいけないと思っています。もう1つは、予算を確保し、施設に設備を設けても、受けて側の体制が整っていないと情報を得られないというハードの問題です。この2つの問題をクリアしていく必要があるかと思っています。
- 委員：市内では、まだ光回線のない地域もありますので、その2つの問題を完全にクリアすることは難しいのではないのでしょうか。
- 委員：インフラを整備してすべての人が平等に情報を享受できる環境を整備していかないといけないですね。お金が掛ると思いますが。
- 委員：かなり前から子どものゲーム依存が問題になっていますが、ICT化を進める前にメディアの使い方やモラルについての教育が必要だと思います。
- 委員長：確認します。社会教育の推進方針には社会教育施設のICT化というワードは入れますか？
- 事務局：予算を伴う案件ですので、記載については慎重にならざるを得ないです。
- 委員長：わかりました。他にありますか。先ほど今後のスケジュールについて説明いただきましたが、今回の議論内容を反映させたものを我々が確認できる場面はありますか。
- 事務局：11月上旬には、加筆、修正したものを再度ご確認いただき、年内にはある程度形にしたいと考えております。コロナウイルスの状況にもよりますが、またこのような場と設けたいと思います。
- 委員長：わかりました。この件は重要な案件ですので、委員のみなさん、今一度読み直していただき、次回に備えて、ご自身の考えを整理しておいてください。それでは次のその他についてお願いします。

## 会議録

---

### ■その他

(1) 公民館事業「シャベル☆きたひろ」について

事務局：資料に基づき説明。

委員長：今回、検討委員でポスター、チラシの作成、講師の選定を行いました。忙しい中、ご尽力いただいた検討委員のみなさんに拍手をお願いいたします。

#### 【一同拍手】

ご説明の中にもありましたが、事業運営について空白があります。事務局に頼るのではなく、ぜひ皆さんに参画していただきたい考えでございます。日中仕事をされている方もいると思いますが、ご都合を付けていただきたいと思っております。ひとまず事務局に一任いたします。

委員：検討会議に参加しました。みんなで意見を出し合って、この会議よりも長い時間ではありましたが、充実していて、すごく楽しかったです。

委員長：土曜日の日中に2回ほど開催しました。充実した検討会議でした。北海道新聞にも取材いただき、先日記事になっていました。

事務局：周知につきまして、委員のみなさまにもご協力いただき、一人でも多くの方にこの公民館事業を知っていただきたいと考えております。

委員長：質問等ありますでしょうか。

委員：3回実施される講座は絶対に3回すべて出席できないとダメでしょうか。

事務局：全3回通して参加することにより、住民主体の意識の醸成や仲間づくりやコミュニティづくりを図るというねらいがあります。しかし申込み状況によっては、多くの人にまずは当事業を知ってもらうという考え方で、柔軟に対応していきたいと思っております。

委員長：あくまで原則ということですね。ぜひ初年度でありますので、みなさまのご協力により成功に導いていきたいと思っております。引き続き、よろしく願いいたします。まだコロナが終息する気配はありません。みなさんくれぐれも気を付けていただければと思います。以上で会議を終わります。

会議録署名委員

---